

いつも大変お世話になっております。高砂市議会議員の鷹尾治久です。

さて、高砂市議会は平成30年度最後の議会(2月26日開会)を3月27日に閉会し、平成31年度予算が決定致しました。この予算計画に基づき運営することにより、安心安全なまちづくり、市民福祉の向上、豊かな生活の実現に向け、引き続きチェックと提言・提案を行っていきたくと考えています。

今回の後援会会報では、この3月議会中に新年度予算の提案者である登幸人高砂市長に対し実施した「会派(明風会)代表質問」の内容を中心に私の思いを含めご報告させていただきます。

市長の政治家としての夢、理念は？

この高砂をどう創ろうとしているのか？

人口減少対策は？



3月議会の総括

平成31年3月高砂市議会は登幸人高砂市長の「施政方針・提案内容の概要説明」で始まり総額略764億円の新年度当初予算及び条例を可決しました。

この3月議会で私は、提案された予算(案)を審議するにあたり新年度が高砂市の今後10年間の長期ビジョン(第5次総合計画)策定年度である事を踏まえ、会派代表質問にて市長が抱くまちづくりに対する夢や理念、人口流出抑制策、市職員の人材育成等を問い、また取り組むべき提言をさせていただきました。(*1)

当初予算に計上されている事業は、現在の高砂市が置かれている状況を勘案すると、いずれも必要不可欠な事業ではあるものの、市にとって大きな課題と位置付ける人口流出抑制に対しては決め手に欠けるとの認識をもつと共に、自らが決め手となる事業提案が出来ていないと捉えています。

その上で今後は、事業の着実な執行をチェックすると共に、自らに何が出来るのか、更に研究、検討を重ね魅力ある高砂市を創っていける様、取り組んでいきたいと考えております。

(*1:会派代表質問の抜粋を次ページ以降にて報告。詳細は5月中旬以降、高砂市議会のHPにて映像配信されていますので是非ご覧ください)

1. 会派代表質問(明風会)

1 市長が抱く『まちづくりの理念』について

質問



「登市長の政治家としての夢は？
そして市政運営を担う組織のトップとしての
理念(根本的な考え方)をお聞かせ頂きたい」

質問の主旨

高砂市はこれまでも市民ニーズに沿った様々な課題解決に向け取り組んできていると認識しています。

例えば、治水対策(安心・安全)、病児保育サービスの提供、ユアアイ帆っとセンター建設(福祉)、図書館新設、小中学校へのエアコン設置、中学校給食実現(教育)、工楽松右衛門旧宅、申義堂の復元、万灯祭(観光)、安価な水道料金の継続などが着実に取り組まれています。市長はじめ職員の方々には心より感謝したいと思います。

しかし、これ程に様々な事業に取り組んでいるにも関わらず、高砂市の人口は自らが設定した人口ビジョンのトレンドとは大きく乖離し、計画よりも減少傾向にあります。平成31年度予算の提案説明でも触れられてはいますが、改めて高砂市が今後向うべき方向性を含めた、政治家としての理念(根本的考え方)を確認したい。

市長答

市民の皆さん一人一人が尊重され、文化にあふれた暮らしやすいまち、そういう地域づくりとして『**生活文化都市**』を掲げている。まさしくこれが私の理念である。

そして、市政運営にあたっての私の考えは平成20年に市長に就任して以来、『**行政は市民の幸せを支える為にある**』を政治理念のもと、有言実行に真正面から真心をもって安定した行財政運営、懸案課題の解消、選挙公約の実現に全力で取り組んできた。今後もこの姿勢は変わることはない。

平成31年の運営テーマは「想」。この「想」には市民一人ひとりの幸せのため、市が何をできるのかを思い行動するという理念を込めている。心から高砂市に住んで良かったと思えるまちづくりを実現していきたいと考えている。



ユアアイ帆っとセンター



新図書館



治水対策



旧工楽邸宅



新庁舎完成予想図

2

高砂市の人口流出対策について

質問



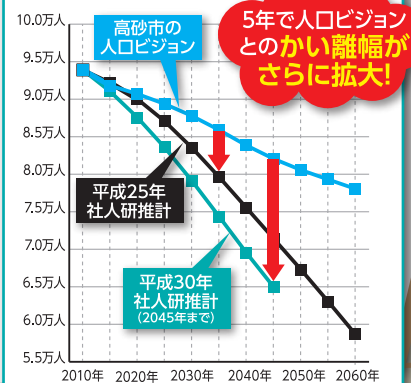
「高砂市の人口ビジョン実現に向けて今後どうしていくのか？」

質問の主旨

平成27(2015)年に示された高砂市の人口ビジョン計画(別表-1参照)では、人口減少を抑制する計画となっているが、実際のトレンドとしては既に計画との乖離が大きくなってきている。この課題に対して、具体的な施策をもってメスを入れていかないかなければ人口トレンドの回復は困難であると考えている。この課題をどう分析し、メスを入れようとしているのかを確認したい。また、平成31(2019)年度は『第5次高砂市総合計画』(10年間の長期ビジョン)を策定する年度であり、今後策定される『第5次総合計画』(案)の中で示す内容が「絵に描いた餅にならない事」を願って人口ビジョンとの関連を踏まえ、平成31年度予算(案)にどう繋がっているのかを確認した。

高砂市の人口ビジョン

前回(H25.3)の社人研推計と
今回(H30.3)の社人研推計との差異
社人研=国立社会保障・人口問題研究所



(別表-1)

市長答

平成27年に人口ビジョンを策定し2060年までを展望している。平成27年度から31年度までの総合戦略を策定し取り組んだが人口減少という課題は解決していないと認識している。今後は、人口減少社会に適応したあるべき姿と施策を検討していく予定である。平成31年度予算においては出会いから結婚、妊娠、出産、子育てへの切れ目ない支援などでの人口減少抑制策とこれまでの事業の見直しによる人口減少に応じたまちづくりを行っていく。

3

行政運営についての具体的提言

提言



高砂市の課題解決の為には

①他市や兵庫県との連携を今以上に積極的にはかるべき

提言の主旨

危険な通勤、通学現場である相生橋や竜山橋等は兵庫県の所管する道路。また松林が枯葉だらけになっている高砂海浜公園も県の所管。これらの改善には兵庫県との連携が必須で市職員の方々も取り組んではいるのですが遅々として変わらない現状がある。この促進を求めたの提言です。

②政策目的達成の為には現場を担う方々に更にその浸透を図るべき

提言の主旨

多くの組織で同じ事が言えるが、様々な施策を立案し実行しようとするが、その主旨、目的、目指す所が組織の末端には中々浸透しない。高砂市は700人を超える職員さんが働き、外部団体への委託も行っている。そしてこれらの現場を担う方々が政策主旨をしっかりと理解し仕事にしていく事が更に必要と捉えての提言です。

市長答

県や他市町との連携は効果的と考えている。高砂市の意思決定を踏まえながら連携していきたい。また様々な方法で情報の共有化を図っているが、職員に等しく共通認識として浸透し自発的に行動できているかというところまでは至っていないと認識している。今後も更に、市民サービスと市民満足度の向上を常に考えながら取り組んでいきたい。

2. 今後の高砂市の主な動き

高砂市が現在取り組んでいる主な事業について以下の通り一覧にご紹介させていただきます。

(全て予定)

分野		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
施設	給食センター	2020年1月開始				
	曾根子ども園(曾根幼稚園・保育園統合)		4月開園			
	米田子ども園(米田幼稚園・保育園統合)		4月開園			
	市役所庁舎			年度末建物完成	外構完成	
	広域ごみ処理施設				完成	
治水対策	高砂浄化センター(雨水ポンプ施設)	年度末完成				
	松村川防潮水門・ポンプ場				完成	
	間の川ポンプ場(ポンプ2機目設置)		年度末設置			
まちづくり	県事業：山電高架化(検討)	●検討期間●	※実施する場合の工事期間は20年から25年			
	山電高砂駅南再開発	※実施時期未定				
	JR曾根駅北側整備	年度末完成				
	曾根地区都市再生整備計画(※1)	●—————事業対象期間—————●				
	県事業：相生橋関連工事				完成	
	コミュニティバス(在り方検討)	●—————検討期間—————●				

※1＝曾根子ども園、地域交流センター、子育て支援センター、消防分団庫庫、山電駅前駐輪場整備等を計画

上記の通り、高砂市は今後も様々な施設建設を計画していますが、既存の施設含め全てを維持していく事は困難との結論を出しており、『公共施設等総合管理計画』に基づき今後20年間で総延床面積の15%縮減(将来は40年間で30%縮減)を計画しています。何が高砂市民にとって最適か、皆様のご意見を伺いながら議員として適切に判断していきたいと考えています。

3. 後援会会長交代のお知らせ

この度、たかお治久後援会会長を務めさせて頂くことになりました野夫井佳昭と申します。

たかお治久後援会は平成21年の発足以来、既に9年が経過しています。この度大役を引き受けるにあたり改めて気が引き締まる思いであります。

さて、鷹尾治久氏は昭和63年に(株)カネカ(当時鐘淵化学工業(株))入社以来、約32年間民間企業勤務の経験を持つと共に、市議会議員としては現在3期目、9年の経験を有しています。

これまでの経験と価値観をもとに、高砂の地で働く者、住む者の気持ち、意見を吸い上げ、スローガンである『心晴れやかな暮らしを実感できる笑顔あふれるまちづくり』の実現に向け、日々活動する鷹尾治久氏を心より支援したく、後援会会長として取り組んで参る所存です。引き続きのご支援ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。本来であれば、後援会会員の皆様の所に出向きご挨拶をするべきところでは御座いますが、紙面でのご挨拶ご容赦くださいませ。



<鷹尾治久後援会役員>

会長：野夫井佳昭 副会長：北野光昭、松谷敏道、荒田修、松野憲児 幹事：松森翔平 会計：林晃平 監査：和住真宏

日常お困りの市政相談は、お気軽にお電話ください。連絡所／TEL.079-445-2395 (カネカ労働組合高砂支部内)